

| | | | | |
|------|--|----------|-------------|-------------|
| | | | 科目コード | 146 |
| 科目名 | 生涯発達心理学 (Life-Span Developmental Psychology) | | 開講学科 | 看護学科・臨床検査学科 |
| 選択区分 | (看護) 必修 (臨床) 選択 | 単位数 (時間) | 1 単位 (15時間) | 履修時期 |
| 担当教員 | 仲渡 江美 | | 科目区分 | 専門基礎科目 |
| 授業概要 | 授業では、乳児期から老人期にかけての人の発達に関する話題提供を行う。各発達段階における基本を理解し、自身の発達過程を振り返り、発達に関する知識を深めることを目指す。 | | | |
| 授業目標 | <p>この授業では、人間の知覚、認知、社会性の発達に関する学習を通じて、次の2点ができるようになることを目標とする。</p> <p>1 ひとりの人間の中で、それぞれの発達の側面がどのように影響しあい、統合されているかを理解し、発達するとはどういうことかについて、自分なりの考えをまとめられるようになる。</p> <p>2 「子どもの発達」を支える基盤について、自分なりの考えを述べるができる。</p> | | | |

授業内容

| 回 | 項目 | 内 容 |
|--------|--|-------------------------------|
| 1 | 発達の理論 | ピアジェの認知発達理論, エリクソンの生涯発達理論 ほか |
| 2 | 認知・社会性の発達 (1) | 乳児期: 赤ちゃんのもつ生得的能力 |
| 3 | 認知・社会性の発達 (2) | 乳児期: 愛着 (attachment): 親子の絆の形成 |
| 4 | 認知・社会性の発達 (3) | 幼児期: ことばの獲得, 心の理論 |
| 5 | 認知・社会性の発達 (4) | 児童期: 学びと友人関係 |
| 6 | 認知・社会性の発達 (5) | 青年期: アイデンティティの確立 |
| 7 | 認知・社会性の発達 (6) | 成人期: 就職, 配偶者選択, 親になること |
| 8 | 認知・社会性の発達 (7) | 老人期: 人生のまとめ |
| 成績評価方法 | 各回のリアクションペーパー (40%), 小レポート (20%), 期末レポート (40%) で評価する。授業計画を含め、詳細は第1回に説明する。 | |
| 教科書 | 特に指定しない。 | |
| 参考図書等 | 岡本祐子・深瀬裕子 (編)「エピソードでつかむ生涯発達心理学」(ミネルヴァ書房) 山口真美「赤ちゃんは顔をよむ一視覚と心の発達学」(紀伊國屋書店) 必要な文献等は、授業で配布する。 | |
| 備考 | | |